

はじめに

このガイドを参照して、MacBook Pro 13インチ Retina Display Late 2012 SSDを交換します。このMacBook Proは[Apple オリジナルのストレージドライブのコネクタ](#)を使用しています。それゆえ、アダプターなしでは一般的なM.2ドライブと互換性がありません。

この修理を始める前に、[現在使用中のSSDのバックアップをしてください](#)。それから[internet recovery](#)もしくは[create a bootable external drive](#)のガイドを読んで作業の理解をしてください。それから macOSを新しいドライブにインストールして、データを移行してください。

最後にオリジナルSSDをMacBook Proから交換する前に、macOS 10.13 High Sierra (それ以降のmacOS)をインストールすることを強く推奨します。最新ストレージドライバーを必要とする新SSDはHigh Sierra以前のmacOSバージョンに対応していません。

ツール:

- MacBook ProとAir 5用のポイントペンタローブネジ用ドライバー (1)
- iFixit開口ツール (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)
- T6トルクススクリュードライバー (1)
- ピンセット (1)

部品:

- OWC Aura Pro 6G SSD (1)

手順 1 — 下部ケース



- 底ケースと上部ケースを留めている次のネジを10本外します。
- 2.3 mm P5ペンタロープネジ—2本
- 3.0 mm P5 ペンタロープネジ—8本
- この作業中、外した各ネジの管理を安全に行ってください。再組み立ての際は、デバイスのダメージを防ぐため、正しい位置に装着してください。

手順 2



- 上部ケースと底ケースの間に指を差し込みます。
- 丁寧に底ケースを上部ケースから外していきます。
- 完全に底ケースを取り出します。

手順 3



① 再組み立ての際、下部ケースの中央を軽く押して、2つのプラスチッククリップを再度取り付けます。

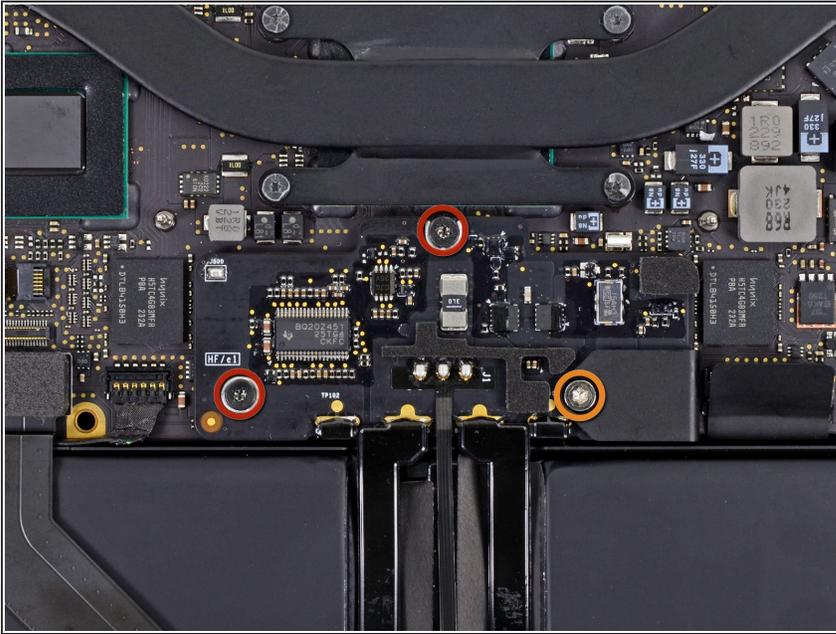
📌 下部ケースは中央で上部ケースと2つのプラスチック製クリップで接続されています。

手順 4 — バッテリーコネクター



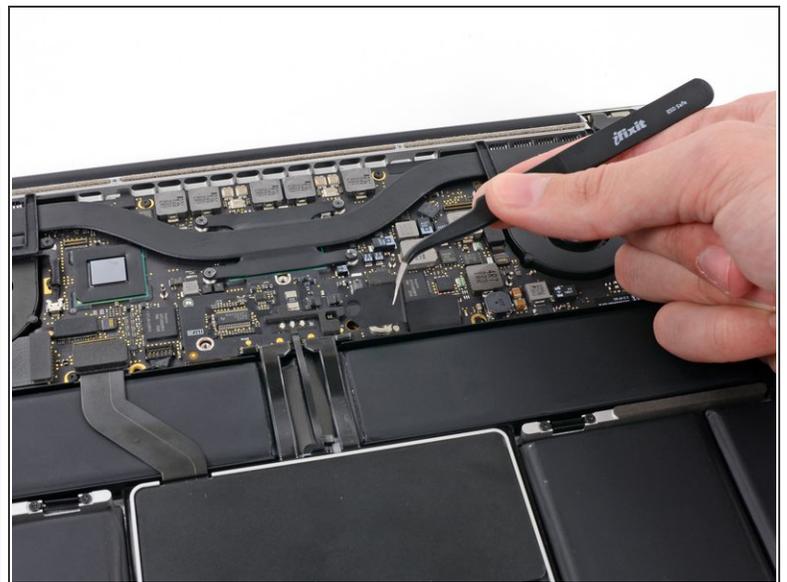
- バッテリーボードに装着されているプラスチックカバーを外します。

手順 5



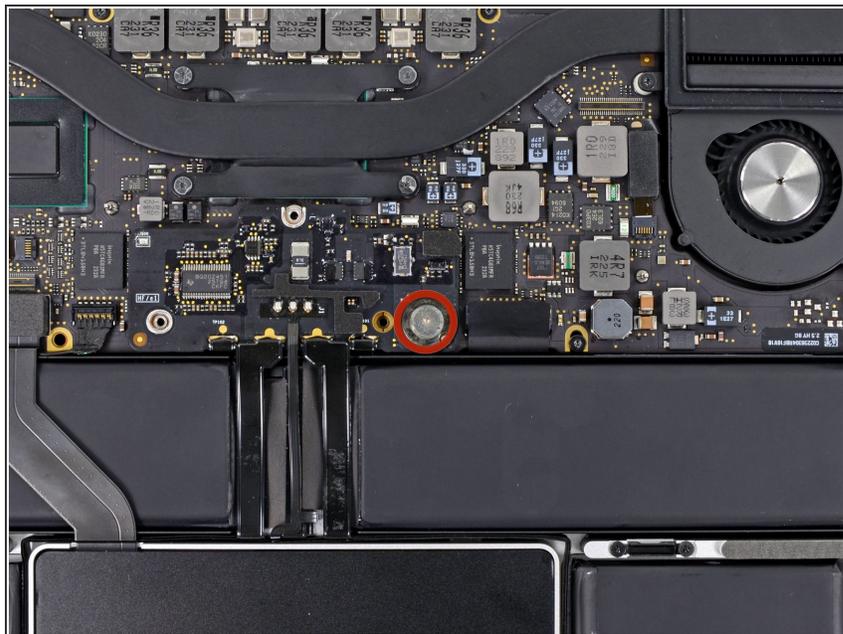
- ロジックボードにバッテリーボードを取り付けている次のネジを外します。
- 2.8 mm T6トルクスネジ—2本
- 7.0 mm T6トルクス肩付きネジ—1本

手順 6



- ピンセットを使って、バッテリーコネクタボードの右側底付近にある小さいプラスチックカバーを取り出します。

手順 7



- バッテリーコネクタをロジックボードアセンブリに留めている広幅の6.4 mm T6トルクスネジを外します。

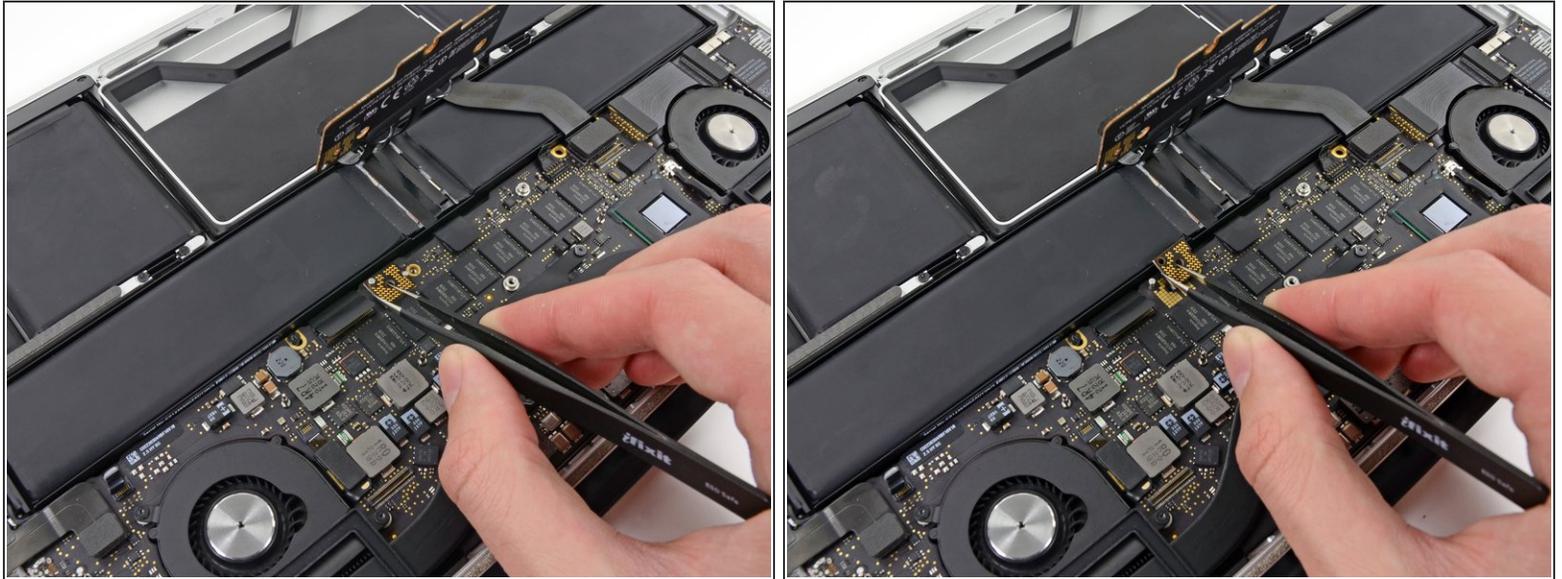
手順 8



- 丁寧にロジックボードからバッテリーコネクターボードを引き上げます。
- 若干バッテリーケーブルを曲げてください。ボードがロジックボード上で引き上げられた状態にして、作業の邪魔にならないようにします。

⚠ ボードを完全に折り曲げたり、ケーブルにしわを入れないでください。バッテリーにダメージを与えてしまいます。

手順 9 — バッテリーボード



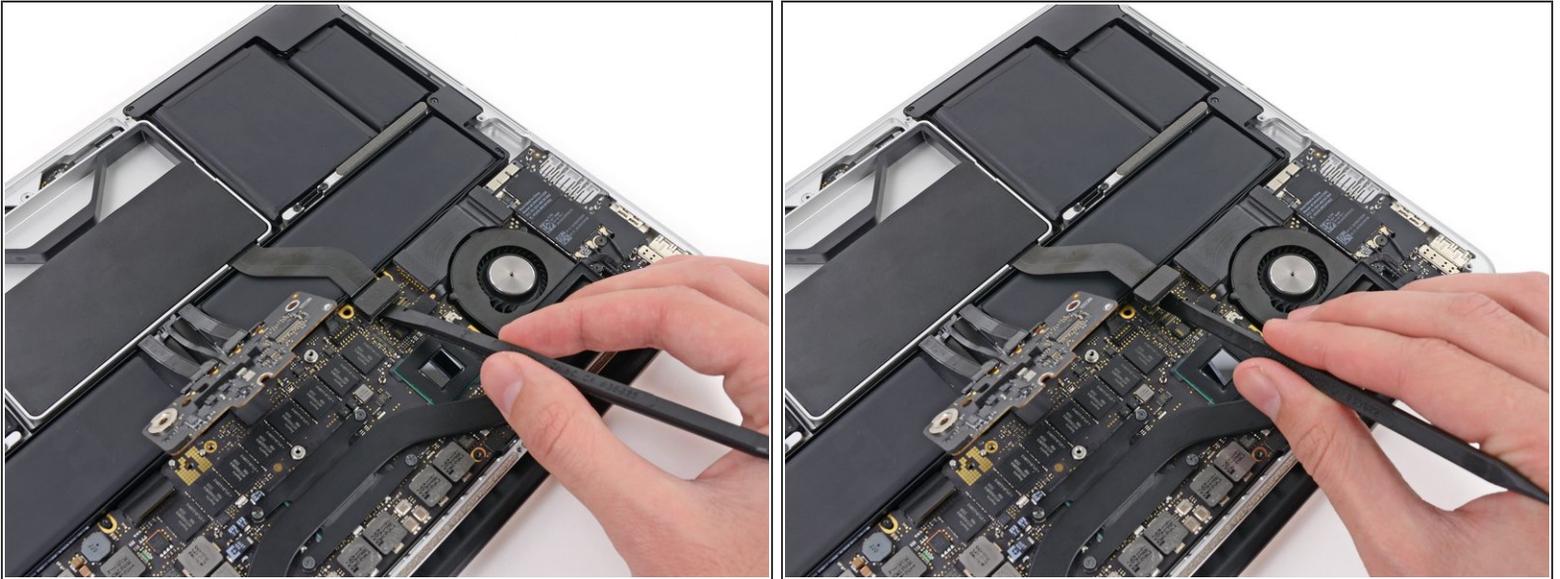
- ピンセットでインターポザーを掴みます。

ⓘ インターポザーとはLSI間の接続を担う役割を持つインターフェイスの名称です。この修理ではバッテリーとロジックボードを接続しているボードを対象とします。

- インターポザーをロジックボードから引き上げて外します。

⚠ このボードを取り外す際は修理作業中、バッテリーが完全に外されているか確認してください。コンピューターがアクシデントにより再起動しないようにご注意ください。バッテリーを取り出しておく事もおすすめです。

手順 10 — SSDアセンブリ



- スパッツァーの平面側先端を使って、ロジックボード上のソケットからSSDケーブルのコネクタを持ち上げます。

手順 11



- 親指もしくは他の指を使ってSSDトレイ上のプラスチックのバネ用バーを曲げて、デバイス正面側に付いている2つのクリップを外します。
- バネ用バーを押し仕上げながら、SSDアセンブリを上向きに傾けて取り出します。

手順 14



- プラスチックの開口ツールの先端をSSDとSSDトレイの間、つまりSSDトレイのソケット側の反対に差し込みます。
- SSDトレイから、SSDトレイのソケットの反対にあるSSDの端をこじ開けます。

⚠ SSDを作業をしていない反対側の指でSSDqがつかめて持ち上がる程度まで押し上げます。高く上げすぎると、カードやソケットにダメージを与えてしまいます。

